
産業応用フォーラム開催のご案内
産業応用フォーラム「自動車用電源統合システム技術」
燃費向上のための補機電気システムからスマートグリッドまで

概要：より燃費が良い、環境にやさしい車をめざし、ハイブリッド車、プラグインハイブリッド車、電気自動車が本格的に拡大を始めました。従来のガソリン車も省電力化やアイドリングストップ技術の導入により燃費向上が急速に進んでいます。また、自動車システムはスマートグリッドの一員になる使命を担い、外部インフラとの協調が大きな課題になっています。このように、電動化、電子制御化の進展、更に電源の多様化により自動車の電源マネジメントシステムはますます複雑化、高度化してきており、電源統合システム技術はそれを実現するための重要技術となります。

本フォーラムでは、次世代の自動車用電源統合システムの課題や対応する技術開発動向について、電源品質、省電力、パワーエレクトロニクス、電源評価の4つのカテゴリーに分けて調査した現状と将来動向、技術内容とロードマップをまとめた結果を報告します。「自動車用電源統合システム調査専門委員会」のメンバーを講師とし、最新の技術動向と応用を解説致します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時：平成22年12月21日(火) 13:00~17:30

場所：キャンパスプラザ京都 (大学コンソーシアム京都)

プログラム：

- | | | |
|----------------|---|----------------|
| 1. 13:00-13:10 | 開会挨拶 | 寺谷 達夫 (トヨタ自動車) |
| 2. 13:10-13:30 | 総論：自動車電源を取り巻く環境 | 立花 武 (トヨタ自動車) |
| 3. 13:30-14:10 | 燃費向上のための補機電気システム アイドリングストップ, 発電システム, エコドライブ, ITS 技術 | 藤田 暢彦 (三菱電機) |
| 4. 14:10-14:40 | 蓄電・給電技術動向 | 大越 哲郎 (新神戸電機) |
| | 休憩 | |
| 5. 14:50-15:20 | 自動車とスマートグリッド | 小柳 文子 (成城大学) |
| 6. 15:20-15:55 | シミュレーション技術 | 辻 公壽 (トヨタ自動車) |
| 7. 15:55-16:30 | 電源用パワーエレクトロニクスの技術動向 | 天野 雅彦 (新神戸電機) |
| 8. 16:30-17:00 | 省電力技術 | 池田 貞文 (日産自動車) |
| 9. 17:00-17:30 | 総合質問 | |
-

テキスト：電気学会技術報告書 「自動車用電源統合システム技術」(電気学会 自動車用電源統合システム調査専門委員会 著)をテキストとして使用します。

参加費：

テキスト購入の場合 一般(会員：8,000円 非会員：20,000円) 学生(会員：4,000円 非会員：10,000円)
テキストなしの場合 一般(会員：5,500円 非会員：17,500円) 学生(会員：1,500円 非会員：7,500円)
当日参加も受け付けますが、テキストには限りがありますので出来るだけ事前申込みをお願い致します。追加テキストのみの当日販売も行います。

申込方法：電気学会ホームページ (<http://www.iee.or.jp/forum.html>) から。締切12月15日(仮)。

問い合わせ先：新神戸電機 大越 哲郎 (E-mail: t.okoshi@shinkobe-denki.co.jp)

参加費払込方法：参加費は、当日に現金でお支払い願います。口座振込をご希望の場合は別途ご相談ください。領収書は、原則としてフォーラム当日の日付で会場渡しとなりますが、その他のご指示がある場合は申込時にご連絡ください。

主催：電気学会産業応用部門 自動車技術委員会 (委員長 トヨタ自動車 寺谷達夫)

協賛：同技術委員会 自動車用電源統合システム調査専門委員会 (委員長 トヨタ自動車 立花 武)

なお、フォーラム終了後、講師の方との意見交換の場として懇親会(会場近くを予定)を企画しております。奮ってご参加ください。参加ご希望の方は、申込フォームの連絡欄に「懇親会への参加希望」と明記ください。